



ローソクの灯りでスローな夜を ～黒磯駅前キャンドルナイト～

今回で18回目を数え、黒磯駅前の恒例行事となったキャンドルナイトが6月11日に行われました。黒磯駅が開業して130周年となる今年は、「鉄道」をテーマにさまざまなオブジェが飾られました。

明治19年の駅開業を機に大きく発展した黒磯駅前。時代が移り、次第が変わっていくまちなか。5,000を超えるキャンドルが並べられた会場には、その温かい灯りに照らされた多くの子どもたちの笑顔が、今も変わらずにありました。



消しましょう その火その時 その場所で ～消火競技会～

那珂川河畔運動公園で消火競技会が6月8日に開催され、男女の部あわせて38の企業や団体などが初期消火の技術を競い合いました。

容器に満たされたガソリンと灯油の混合油に着火されると瞬く間に大きな炎に。この日は風が強かったためか、消火器を一本を使い切ってもなかなか鎮火に至らないケースが続出しました。

一度燃え広がってしまうと簡単には鎮火しません。初期消火の重要性をあらためて感じました。

ホネ博2016



那須野が原博物館では、5月28日から「ホネ博2016」が開催されています。クジラのような大きなものから、ハツカデバネズミのような小さなものまでさまざまなホネが展示されています。子どもはもちろん大人も楽しめる展示です！ぜひ足を運んでみてください。



5/28 クジラ全身骨格組み立て

ホネ博最初のワークショップでは、子どもたちが体長5mものオウギハクジラの全身骨格の組み立てに挑戦。硬いが壊れやすい本物の骨の扱いにビクビクしていた子どもたちも、組み立てが進むにつれて真剣な表情に。完成を迎えた瞬間、会場からは自然と拍手と歓声が上がりました。

6/12 探検！ほねほね動物園

ほねほね動物園と称す学芸員による展示解説が行われました。大人も含め約30人がその解説に耳を傾ける盛況ぶり。「ナマケモノは首の骨が9個あるんだよ」と新しいことを学んだ子どもたちは、とても満足そうな笑顔を浮かべていました。



早く！急がないと負けちゃうよ ～ふれあいスポーツ大会～

6月23日、ふれあいスポーツ大会が関谷南公園で開催され、塩原地区の園児と市老人クラブ連合会のメンバーら総勢270人が参加。紅白に分かれて風船割りリレーなど全10種目を競い合いました。

必死に応援する子どもたちの「頑張れ」コール。期待に応えようと全力で走るおじいちゃん。「転ばないで」と心配する会場アナウンス。それらが混ざり合った会場は、梅雨の雨を吹き飛ばすくらいの活気と笑いに満ちていました。



トップリーグの技術に学ぶ ～東レ女子アローズバレーボール教室～

三島体育センターで6月11日、井口の東レBSFがVプレミアリーグで活躍する峯村沙紀主将ら3選手を招き、教室を開催しました。当日は、市婦人バレーボール連盟所属10チームのメンバー約50人が参加。

サーブ、トス、レシーブといった基礎練習のほか、3選手を相手に練習試合も行われ、参加者が選手の強烈なスパイクを見事にレシーブする場面も。練習後のQ&Aでは、技術やメンタル面に関してなど、うまくなるために前向きな質問が相次ぎました。



有名な文豪になりきって ～塩原温泉文学まつり～

明治から昭和にかけて多くの文人が訪れた塩原温泉郷。温泉街には彼らに関する文学碑が多く残されています。文学ガイドボランティアを行っている塩原文学研究会のメンバーが中心になり、6月9日～11日の3日間、塩原温泉文学まつりが開催されました。関係者が夏目漱石や与謝野晶子などに仮装し、彼らに関するクイズを出したり、尾崎紅葉の「金色夜叉」の寸劇などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



八郎ヶ原放牧場で入牧始まる

塩原地区の新湯温泉近くに広がる八郎ヶ原放牧場。今年も市内で飼育されている乳用牛の入牧が始まりました。

今年約80頭が入牧される予定で、初日の5月18日には、約30頭が牧草地に到着。牛たちは体重測定など所定の検査を受けた後、約50ヘクタールの広々とした牧草地に駆け出して行きました。牛たちは周囲の木々が色づく10月末頃まで放牧場で過ごし、飼い主の元に戻っていきます。